



發行所
銅路湖陵高等學校
生徒會新聞局
發行責任人
泰明郎
太編集
生婧
澤大山森

釧路第一印刷株式会社

電話 五〇七三五山町市城鉤路

に對し深く感謝の意を表するものである。そしてその中で勉學、運動に励む我々もそれ等の努力と協力とに恥じぬ立派な校風をうち立て、内外共秀れた學校として社會文化向上に貢獻せん事を全校一体となつた努力と協力の元で固く約束することを誓おうではないか。

半ばは腹を立てながら、微笑くなるのである。本校の先輩や、本校の昔を知る他の地方の人達からも、鉏中には、學業でもスポーツでも非常に輝しい時代があつたのだがと度々聞かれて、そのような時代を現させたいのだと感じてゐるのである。

今や校舎もその施設、設備も、完全無欠とは勿論言ふべきではないが、焼失前に比べれば、何も彼ものが素晴らしく生まれ変わったといつてよいであろう。

加うるに諸君の素質も學校の調査では全國の水準を抜いている位であることがうなづく。



校舎ができ上つて最も喜びを感じているのは生徒諸君であろう。工事中の騒音にも何一つ苦情を言わず、薄暗い教室で学びながらも、決して暗い氣持に陥ることもない毎日を過したのも、完成の日の楽しみを夢みていたからであろう。

未だ十分に乾いていないから觸れてはいけないといふ先生方の注意にも、つい指の先で新しい壁の感触を味わつてみたくなつて思わず傷をつけたり、非常用のシヤッターワークを時ならぬ時に降してしまつて、先生に叱られる

誰でも、目的、理想、夢といったものを心のどこかに置いていないものではなくとも諸君は本校に少くとも多少は本校に高い理想に胸に抱く間違ひも無くらませて來た筈である。然し、理想は夢めるだけの価値を生み出すものではない。その理想、目的が達されるとまでは、どんな障害に遭遇しても屈しない精神で努力しつづけることによって價値を生み出すものである。このところが多くの諸君に欠けているのである。自らの能力を確信し、

PTA 会長 岩堀 氏 康

「努力の偉大さ」

PTA 会長 岩堀 氏

半ばは腹を立てながら、微笑ましくなるのである。本校の先輩や、本校の昔を知る他の地方の人達からも、鉤申には、學業でもスポーツでも非常に輝しい時代があつたのだがと度々聞かされて、そのような時代を再現させたいのだと念じ続けているのである。

今や校舎もその施設、設備も、完全無欠とは勿論言われないが、焼失前に比べれば、何と彼もが素晴しく生れ變つたといつてよいであろう。

加うるに諸君の素質も學校の調査では全國の水準を抜いている位であることがわ

る。

湖陵精神の再建、立派に刷新にあると思う。

PTA 会長 岩堀 氏 康

新校舎完成に思う

そして今日の結實となつたのであります。再びこの關係各位に對し厚く御禮申し上げる次第であります。不肖私は舊稱創路中學校三期生であり現在P.T.A.役員をして居りますが私は母校であるという感じと供が教育を受けておる神功小学校舎であると言う一つ感情の中に立ち、完成された湖陵高校の姿を見、感激一しほ深いものがあります。

在校の諸君永久に續く青の學び舎、湖陵高校の新舎を可愛がつてやつて下さい。

實社會に於いて活動して四千名の卒業生は母校新築落成を知り如何程かろこんでおる事でしよう又上級學校在學の先輩諸君この報告を知り熱誠をもつて貢献を要する事で

A black and white portrait of Wang Jingwei, showing him from the chest up, wearing a dark military-style uniform with a high collar.

昨年二月、寒威禦襲の中はかなくも崩れ落ちる所の前に、只茫然と立ちすくんでから早や一年有余の年の精神こそ、世界の平和及び人類の幸福に貢献する唯一の精神的手段であると確信いたしております。御

校舎焼失の際に校長先生の「學舍こそ失つたが、四十年に輝く湖陵高魂を失つてはならぬ。」と云う訓辭を聞いてから一年有余の苦しい間借生活を経て、この立派な新校舎に入り得たのは、「一重に校長先生、並びにPTA、同窓會、田中組、その他關係筋の協力のおかげである。そして又我々は今日九月二十二日落成式を迎へ二重の喜びにひたつている。

だが、その反面校舎建築の陰に日夜ほん走し努力してくれた、縁の下の力持ちとも云うべき人々達への感謝を忘れてはいないだらうか?.....

校舎に入つた喜びよりむしろ彼等の苦勞を讚えるべきであろう。それに對する感謝を忘れるような人間ならば人間としての價値も又高校生たる價値も失われて行はんといしない。

感謝ばかりで社會は成り立ちはしない。しかし、感謝謝るといふのは度を越えない限り美しく故あるものである。これを他動的ではなくして自動的にわきまえ、行へるようにならなくて人間として、且つ高校生としての風格は備つて來ないのである。

我々の校舎ばかりの問題ではない。日本國民もこのような傾向がみられないだらうか?.....日本の「縁の下の力持ち」は農民漁民たちである。彼等の奉仕によつて初めて我々は生計を立てられ、國の富を増すことができるのである。こればかりはいくら政治家が自己的權力を持つてしても否定出来ない。何故ならば、彼ら等もまた「縁の下の力持ち」によつて生活しているからである。

日本につて農、漁民は實である。それを原、水爆などで傷めつける何處かの國の氣が知れない。「縁の下の力持ちたちへの」感謝を忘れた國ではなかろうか?、そうであるならばこれ程あわれなことはない。

世の中をうれいして、いるばかりで、果してこの汚濁した世の中を清く、住みよくする事が出來ようか、自ら悔い改めてこそ本當の清い世の中が生れるのである。やつと出來上つた新校舎の壁に落書きをするような人間はしいないだらうか?そのような人間はその人間の反省を待つより仕方のない事である。人間的に目覺めた人は尊い人として敬われるに足る人間となるのである。我々は汚い世の中に生れむしろ自己の人格を完成する負の機會にめぐまれて居ると云えよう、明日の時代を背負ふ我々の中には、右に折る、左に折れ、たゞえまづく進む者は少なくなるうとも、それで一個の全てに於て完成した人間が出来上つたならば、その人間は一生を悔いなく過せるに違ひない。

我々も高校生たる以上汚い社會環境に染まることがない且つ感謝を忘れぬ人間にならなければならぬ。ならば、何も無理に形式にこだわつて入つて來た必要はなかつた筈であり、別に道を求めるのが最善の策である。單に高校に入つて空虚な人間となるならならば、その人間は人生の落伍者として相手にされぬ人間にならう。單に高校生たる以上汚い社會環境に染まることがない且つ感謝を忘れぬ人間にならなければならぬ。

人生はお互いに理解し合つてこそ、生きる喜びを味い人生的快樂を多々見出せるのである。

ゲーテは云つた「此の世の天國が絶望の深ん」と我々はこのどちらかの立場に屬することによつて、その人生は忘はれぬ人が来る。即ち勝利を得る、且つ全ての人の感謝を得る人が最後の勝利を得るのであるから。この落成式を迎えて、我々が一步人格を完成し「縁の下の力持ち」を忘れぬ人間になるならば、それが今迄強調して來たところの「縁の下の力持ち」への最大の報酬となるのである。

人格の完成を

きょう晴れの落成式

祝典盛大に舉行さる

新校舎落成を祝う式典が二十二日午後一時半より本校第一体育館に於いて盛大に舉行された。

一ヶ年有余の月日を費し多くの人々の斗いの結晶として完成された校舎だけに、その喜びは、並々ならぬものがある。まだ体育館を初め設備等の方は揃っていないとは云え鐵筋コンクリート三階建の堂々たるその建築美は全道でも有數の校舎であろうと學校當局は勿論、關係當局の方々も鼻高々である。又生徒も焼失以來つい先日までの不便な生活から解放されて勉學に励んでいる。落成式典はこの事業に拂つて下さつた方々、學校關係者、同窓生、父兄等の約三百余名に上る多數の出席をもつて、始終嚴かなる雰圍氣に包まれ、心かららの祝の辭が述べられ、落成までの足跡を新たにし、今後の發展を期待される中に無事閉會した。

禮儀作法の改善を

○	真面目で、家	11	12	16	24
○	進學率が高	12	13	17	29
○	明朝活達	12	13	17	37
○	卒業生の美点なるも	12	13	17	37
○	のについては	12	13	17	37
○	母校説が強く後輩を指す	12	13	17	37
○	後輩説（就職進學等）	12	13	17	37
○	大毎日を通じていわれて	12	13	17	37
○	ある。	12	13	17	37
○	振返つて見ると、數知	12	13	17	37
○	れない困難と取組んで、その	12	13	17	37
○	一つ／＼を乗り切つて今日	12	13	17	37
○	に至つたのである。しかし	12	13	17	37
○	それだけに、昔物には体験	12	13	17	37
○	出来ない物が私達の心の底	12	13	17	37
○	流れているのではなくかと	12	13	17	37
○	うか。又一つ／＼目を閉じ	12	13	17	37

新校舎と共に

新年度になつた十月一日からが始まるのであるが、それは特に校舎落成のため六日から後期が始まる。

新しいピアノ

ア 真がるにいとうるすうののういに
二面論説、時評、妄言多談、普通記事。
長PTA會長、生徒會長、
四面校舍落成記念特集。...
三面座談會本年度上半期
生徒會活動を顧みて。山口
の足どり。校舍建築見た
五面讀書、文藝。讀書に
いて、高山動物になつて。
六面スポーツ。文化部探

▼待ちに待つた新校舎がついに完成した。この事業に携つて下さった各方面の方々に對して感謝の意を表わしたい。長い間本當に御苦勞様でした。

各種写真は
誠意ある
寫眞館へ！
南大通り五丁目

カミラの専門店

高級カメラ、寫真材料、各種在庫
現象、焼付、引伸)

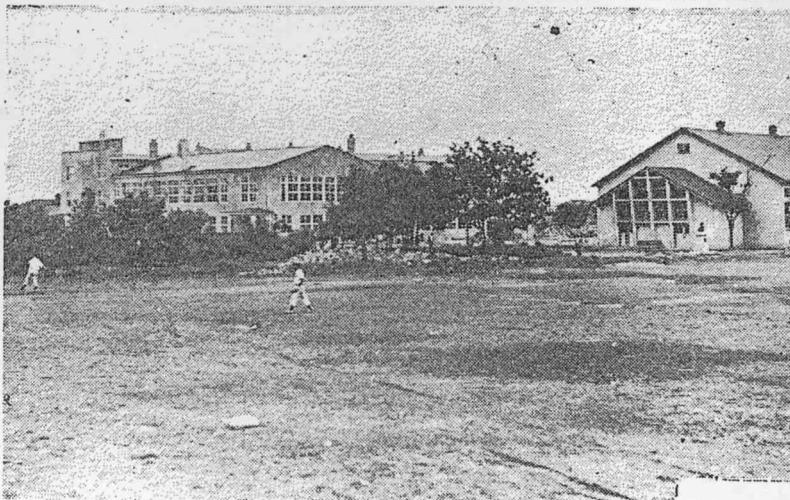
黒金町八丁目

記念季節各種写眞
親切手就章

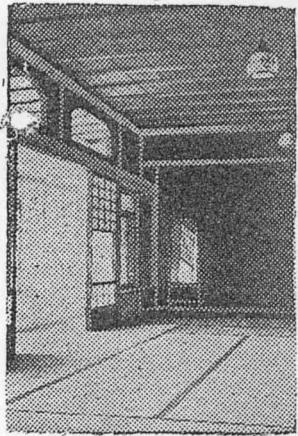
工藤寫眞館へ！
南大通り五丁目

株式会社 釧路カメラハウス

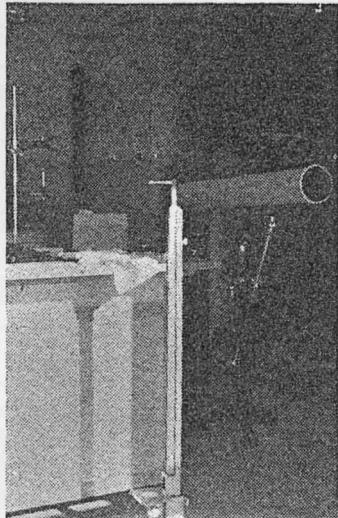
焼け跡を整地したグランドと校舎全景（屋外）



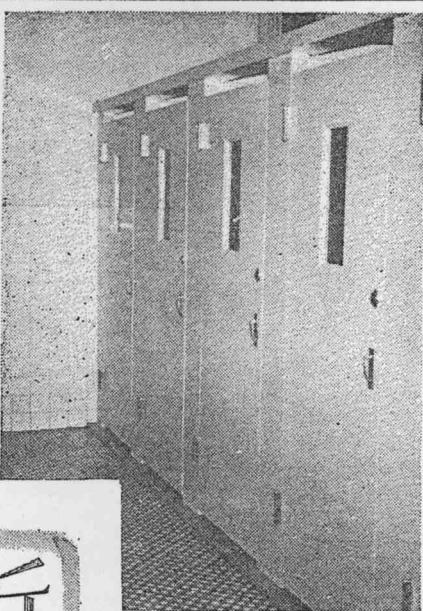
月光輝く屋上で空の神秘を探るのもつてこいの物理部ご自慢の天体望遠鏡（一階）



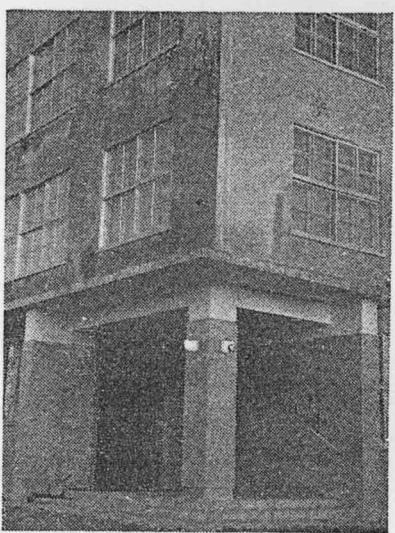
↑
縹近代設備に全く逆を行く
作室。ふすま、床の間、
鏡台、縁側を持つ全くの日
本間（三階）



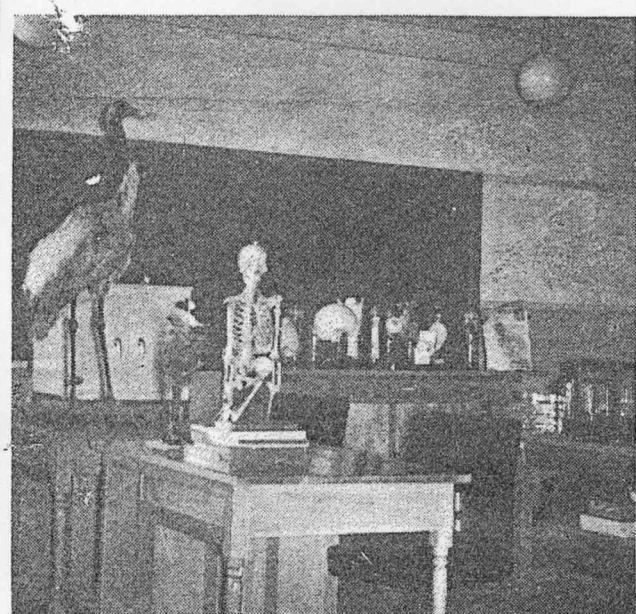
近代的な設備を誇る 内 部



近世の漢學と其の世の一隱女子便所



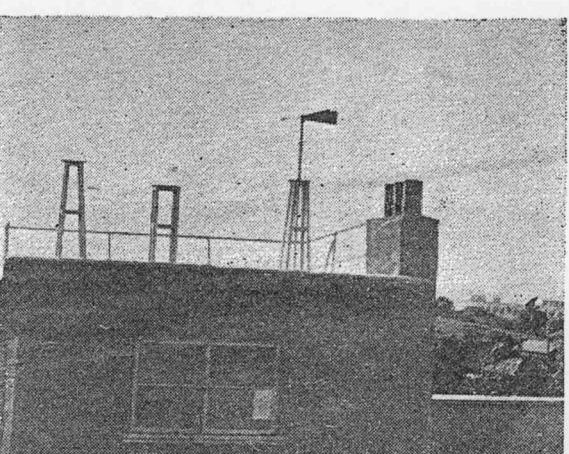
↑授業最中の化學教室、化學に必要な設備はすべて揃えている（一階）



→無氣味極まる骸骨などを有する生物準備室（一階



→ 全校に芳香をただよわす設備満点の食物室（一階）



解說

北海のはて、釧都高台に白壁を輝やかせ、さつそとしそびえ建つ我が校舎をこの紙上において訪づれて見よう。

まず本校の玄關だ、中央に職員玄關、そして北西に生徒玄關などとのえているこの玄關から千三百の生徒が活潑に出入りするのである。

祝 校 舍 落 成 記 念



洋畫材料

各種取揃へ

株式会社

美術の秋 !!

その他豊富取揃へ

鶴屋

—3階—